

## 国際森林年記念育樹祭を開催

去る平成23年6月9日(木)、むつ市の奥内第一国有林240い4林小班に於いて、むつ市と共同で国際森林年記念育樹祭を開催し、関係機関・関係団体・フォレストボランティア員・一般応募者・奥内小学校の生徒など59人が参加しました。



はじめに主催のむつ市長から「豊かな森林を育てることが豊かな海を育てることにつながります。今日は苦手な”長いモノ”に出会わないことを祈ります。」との挨拶があり、同じく主催の当署署長からは、「育樹作業は植樹と比べると地味なイメージですが、森林を守っていくには欠かせない大事な作業です。」との挨拶がありました。

昨年の育樹祭は下刈作業でしたが、今年はスギの枝打及び間伐作業ということで初めて体験する人が多く、枝打方法や林内での安全作業についての説明には皆熱心に耳を傾けていました。

作業が開始されると、それぞれが鋸を手に枝を次々に切り落としていき、下枝が多く暗かった林内が見る見るうちに明るくなっていきました。

その後間伐作業も行いましたが、木が倒れる瞬間は小学生の間から「すげー」「やったー」などの歓声があがり、育樹作業の面白さを体感している様子でした。



また作業後には、当署からは国際森林年について、県民局からはスギ県産材の利用促進について参加者に説明を行いました。

当日は晴天に恵まれましたが、その分気温も上がり、小学校の生徒の中には体調を崩す人もいました。ただ心配された怪我や”長いモノ”の出現もなく、無事に終えることができたのは何よりでした。